

平成 31 年度
南アルプス国立公園ニホンジカ対策モニタリング
および植物生育状況調査業務

植物生育状況調査
報告書

令和 2 年 3 月
環境省関東地方環境事務所

目 次

1	業務概要	1
1.1	概要	1
(1)	業務名称	1
(2)	業務の目的	1
(3)	業務の実施期間	1
1.2	業務内容	1
(1)	業務実施計画の作成	1
(2)	業務項目	1
(3)	業務対象	2
2	実施結果	4
2.1	有識者へのヒアリングの実施	4
2.2	既存文献による情報収集	5
2.3	収集した情報の精査及びリストの作成	7
2.4	確認種リストとシカ採食植物・不嗜好性植物の照合	11
2.5	その他の分類群	12
2.6	業務内容のとりまとめ	13

<資料編>

資料 : 収集文献一覧

1 業務概要

1.1 概要

(1) 業務名称

業務委託名：平成31年度南アルプス国立公園ニホンジカ対策モニタリングおよび植物生育状況調査業務

(2) 業務の目的

南アルプスは、3000m級の山々が連なる日本を代表する山岳地帯である。その主要部分を占める高山・亜高山帯には、厳しい自然環境に適応した生物が生息しており、それらには氷河時代の遺存種や固有種も多く、生物多様性保全の観点からも重要な地域である。近年のニホンジカ（以下「シカ」という。）による高山・亜高山帯への影響は深刻化しており、高山植物を含めた生態系へ与える影響は多大なものとなっている。

以上のことから、本業務では、南アルプス国立公園において、シカ対策等を効果的・効率的に実施するために必要な基礎資料として、南アルプス国立公園の指定植物の見直しに向けた検討作業を行うことも目的とした。

(3) 業務の実施期間

令和元年6月7日から令和2年3月13日

1.2 業務内容

(1) 業務実施計画の作成

業務内容を十分理解し、円滑な業務の遂行ができるように業務計画書を作成した。なお、計画作成にあたっては、関東地方環境事務所担当官（以下「環境省担当官」という）の了解を得ることとした。

(2) 業務項目

業務項目は以下のとおりとした（表 1-1）。

表 1-1 業務項目

工種・種目・細別	単位	数量
(1)有識者へのヒアリング調査等の実施	人・回	4
(2)既存文献の調査等による情報収集	式	1
(3)収集した情報の精査及びリストの作成	式	1
(4)打ち合わせ	回	3
(5)業務内容のとりまとめ	式	1

(3) 業務対象

調査対象地域は南アルプス国立公園の全域（図 1-1 参照）とした。

また、調査対象とする植物の範囲は、原則として維管束植物とし、それ以外の分類群については調査を実施する中で同時に得た情報について収集・整理するものとした。

なお、外来種（国内外来種を含む）や栽培・植栽種は基本的に調査対象外とした。

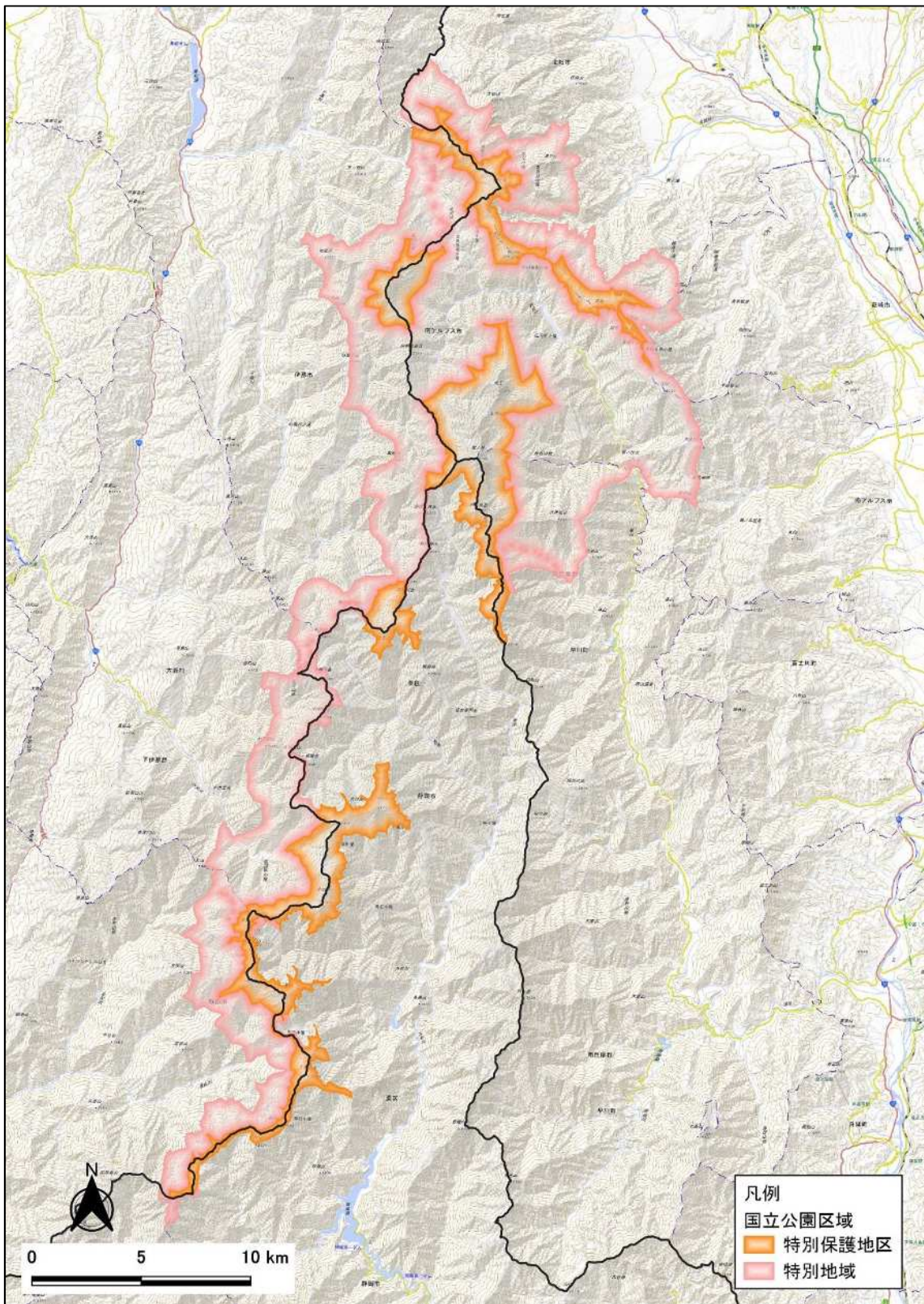


图 1-1 調査対象地域

2 実施結果

2.1 有識者へのヒアリングの実施

南アルプス国立公園の植物の生育状況に詳しい有識者を、専門とする分野及び地域を考慮した上で、表 2-1 に示す 4 名選定し、ヒアリングを行った。

ヒアリング実施状況を表 2-2 に示す。

表 2-1 ヒアリング対象有識者

ヒアリング対象者	所属	専門分野 (植物、地域等)	備考
増澤 武弘	静岡大学	高山植物全般	客員教授
大塚 孝一	長野県植物研究会	シダ植物	副会長
尾関 雅章	長野県環境保全研究所 信州気候変動適応センター	高山生態系と地球 温暖化	主任研究員
長池 卓男	山梨県森林総合研究所	森林科学とシカ	主幹研究員

表 2-2 ヒアリング実施状況

実施日	ヒアリング対象者	主なヒアリング項目
令和元年 7 月 25 日	増澤 武弘	<ul style="list-style-type: none">・南アルプスに係る文献情報全般について・現地の状況について（特に調査対象地の状況について）・維管束植物リストの整理方針について
令和 2 年 2 月 17 日	大塚 孝一	<ul style="list-style-type: none">・既存文献情報について・南アルプスにおけるシダ植物の現状について・維管束植物リストの整理方法について・現地の状況について
令和 2 年 2 月 18 日	尾関 雅章	<ul style="list-style-type: none">・既存文献情報について・維管束植物リストの整理方法について・現地の状況について
令和 2 年 2 月 21 日	長池 卓男	<ul style="list-style-type: none">・既存文献情報について・維管束植物リストの整理方法について・現地の状況について

2.2 既存文献による情報収集

既存文献による情報収集に関しては、以下の方針で行った。

- ・当該地域における植物の種名、生育位置及び状況等が記録されている文献
- ・有識者より情報提供を受けた文献等

以上の方針から、17つの文献を収集した。収集した文献一覧を表 2-3 に示す。

表 2-3 収集文献一覧

文献番号	文献名	編・著	発行	発行年	掲載されていた分類群			
					維管束植物	蘚苔類	菌類	地衣類
1	長野県植物目録	長野県植物目録編纂委員会	長野県植物目録編纂委員会	2017年6月1日	○			
2	長野県版レッドデータブック ～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～ 維管束植物編 2002	長野県自然保護研究所、長野県生活環境部環境自然保護課	長野県自然公園協会	2002年3月1日	○			
3	信州の高山植物	奥原弘人、千村速男	信濃毎日新聞社	1980年7月10日	○			
4	静岡県植物誌	杉本順一	第一法規出版株式会社	1984年9月1日	○			
5	まもりたい静岡県の野生生物 -県版レッドデータブック- <植物編>	静岡県自然環境調査委員会	羽衣出版有限公司	2004年3月	○			
6	山梨の植物誌	植松春雄	井上書店	1981年3月20日	○			
7	2018 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物	山梨県森林環境部みどり自然課	山梨県森林環境部みどり自然課	2018年3月	○			
8	南アルプス 地形と生物	増沢武弘	静岡県県民部環境局環境ふれあい室	2010年3月15日	○	○	○	○
9	南アルプスの自然	増沢武弘	静岡県環境森林部自然保護室	2007年3月30日	○			○
10	南アルプス 白峰三山の自然	増沢武弘、塩沢久仙	南アルプス芦安山岳館	2013年7月31日	○	○	○	
11	南アルプス お花畑と氷河地形	増沢武弘	静岡新聞社	2008年12月20日	○	○	○	○
12	南アルプスの植物	植松春雄	井上周一郎	1967年8月15日	○			
13	日本南アルプスの高山植物(1)	横内文人	長野県植物研究会誌 36:1-20	2003年	○			
14	日本南アルプスの高山植物(2)	横内文人	長野県植物研究会誌 37:51-72	2004年	○			
15	南アルプス 歩きながら覚える 夜叉神峠・鳳凰三山の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2002年6月10日	○			○
16	南アルプス 歩きながら覚える 仙丈ヶ岳の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2003年6月20日	○			
17	南アルプス 歩きながら覚える 北岳の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2010年6月30日	○			

2.3 収集した情報の精査及びリストの作成

収集した情報をもとに、南アルプス国立公園に生育する可能性のある植物のリストを指定の様式（表 2-4）により、以下の各項目について確認し、リストを作成した。

- ・科名及び種名 ※各和名及び異名についても記載
- ・種の特徴（分布の特殊性、他の生物種との密接な種間関係、栄養摂取方法の特殊性、生育地の特殊性、季観構成及び採取対象としての該当）
- ・レッドリストへの掲載
- ・生育場所の詳細
- ・自然公園法に基づく地種区分の該当（特別保護地区、特別地域（第 1 種、第 2 種又は第 3 種特別地域）又は普通地域の別について、判明した範囲で記載する）
- ・生育可能性及び名称の根拠となった文献等

種名の表記とその配列は、原則として日本植物分類学会会員有志が編纂する「GreenList^{*1}」に従うものとした。ただし、GreenList に記載そのものがない場合や、その他に適切な名称があると判断される場合は、環境省担当官と相談のうえ適切に対応した。

「種の特徴」の選定に当たっては、指定植物選定作業要領（環境省自然環境局国立公園課、平成 27 年）及び表 2-5 に示す選定方針に沿って行った。また、種の特徴の記載に関しては、表 2-6 に示す文献を参考とした。

¹ GreenList (<http://www.rdplants.org/gl/>)

表 2-4 植物リスト様式

植物リスト

番号	科名	種名			種の特徴																	現行の指定植物	環境省レッドリスト	都道府県レッドリスト	公園内の詳細な分布位置		備考									
		和名	学名	注記	①a	①b	①c	②a	②b	②c	③	④a	④b	④c	⑤a	⑤b	⑤c	⑤d	⑤e	⑤f	⑤g				⑤h	⑤i		⑤j	⑤k	⑤l	⑤m	⑤n	⑤o	⑥p	⑥	⑦

植物リストの記入方法

番号	通し番号を記入する。
科名	科名及び種名の配列準は原則として最新版の GreenList に従う。
種名: 和名、学名	減速として GreenList の和名及び学名に従う。GreenList に掲載のない和名・学名を記載する場合は、その根拠文献を「備考」欄に記入する。
注記	別名がある場合、亜種関係や変種関係となっている種や品種を含めて確認されている場合や、分類の見解等により異名になっている種を含めて整理する必要がある場合に記入する。
種の特徴	以下①～⑦に該当する場合に○を記入する。①c(分布の東西南北の限界)の欄には、東西南北を示す「E」「W」「N」「S」を記入する。 ①分布の特殊性を有する種 a: 分布の範囲が当該国立公園、国定公園及びその周辺に限定されている種 / b: 隔離分布を呈する種 / c: 当該国立公園、国定公園が国内における分布の東西南北の限界(もしくはそれ地に近い地域)となっている種 ②絶滅危惧種及び希少種 a: 環境省レッドリストの絶滅危惧 I 類(CR、EN)、II 類(VU)の種 / b: 地域的に特に個体数が少ない種 / c: 地域的に特に個体数が少ない種 ③希少な動物の生息に必要な種 希少な動物(高山蝶等)の生息域にあつて、当該動物と密接な種間関係(食草等)にある種 ④特殊な栄養摂取を行う種 a: 食虫植物 / b: 腐生植物(従属栄養植物) / c: 寄生植物 ⑤特殊な条件の立地に生育する種 a: 火山 / b: 岸壁、岩隙地 / c: 特殊岩石地 / d: 崩壊性砂礫地 / e: 雪崩斜面 / f: 海岸断崖、砂丘 / g: 風衝地 / h: 風穴 / i: 雪田 / j: 高層湿原、中間湿原、湧水湿地 / k: 池塘、流水緑 / l: 塩沼地 / m: 減水裸地(水位低下により一時的に生じる湿った裸地) / n: 溪岸 / o: 雲霧帯 / p: 樹幹、樹上 ⑥季観を構成する特徴的な種 季節的な変化を見せる植物群落の構成種で特徴的な種 ⑦園芸業者、薬種業者、マニア等の採取対象となる種 商品的価値がある種又は収集の対象となる種
環境省レッドリスト	環境省レッドリストのカテゴリー(ランク)を記入する。
都道府県レッドリスト	都道府県レッドリスト又はレッドデータブックのカテゴリー(ランク)を記入する。複数の都道府県にまたがる場合は都道府県ごとに列を分けて記入する。
公園内の詳細な位置	公園内の詳細な位置情報について、以下の通り記載する。
既存資料での表記	収集した既存資料に記載されている場合は、そのまま転記する。また、参照した既存資料に文献番号とつけ、文献名を欄外や別表にて整理する。
特別地域を含むか否か	上記分布位置が特別地域内を含む可能性がある場合は「●」を記入する
備考	収集した既存資料に記載されている科名や和名・学名について、分類学の進展等により、現在標準的に使用されているものと異なっていることが判明した場合等、必要に応じて記入する。

表 2-5 「種の特徴」選定基準

	種の特徴	選定方針
①分布の特殊性を有する種	a: 分布の範囲が当該国立公園、国定公園及びその周辺に限定されている種	既存文献、図鑑等の記載から抽出
	b: 隔離分布を呈する種	既存文献、図鑑等の記載から抽出
	c: 当該国立公園、国定公園が国内における分布の東西南北の限界(もしくはそれ地に近い地域)となっている種	既存文献、図鑑等の記載から抽出
②絶滅危惧種及び希少種	a: 環境省レッドリストの絶滅危惧種、絶滅危惧Ⅰ類(CR、EN)、Ⅱ類(VU)の種	環境省レッドリスト 2019 から抽出
	b: 地域的に特に個体数が少ない種	山梨県レッドデータブック 2018、長野県レッドリスト 2014、静岡県レッドリスト 2014 から抽出
	c: 地域的に特に個体数が少ない種	環境省レッドデータブック 2014 から抽出
③希少な動物の生息に必要な種	希少な動物(高山蝶等)の生息域にあって、当該動物と密接な種間関係(食草等)にある種	南アルプスに生息する高山蝶の食草を抽出
④特殊な栄養摂取を行う種	a: 食虫植物	図鑑等の記載から抽出
	b: 腐生植物(従属栄養植物)	
	c: 寄生植物	
⑤特殊な条件の立地に生育する種	a: 火山	
	b: 岸壁、岩隙地	
	c: 特殊岩石地	
	d: 崩壊性砂礫地	
	e: 雪崩斜面	
	f: 海岸断崖、砂丘	
	g: 風衝地	
	h: 風穴	
	i: 雪田	
	j: 高層湿原、中間湿原、湧水湿地	
	k: 池塘、流水縁	
	l: 塩沼地	
m: 減水裸地(水位低下により一時的に生じる湿った裸地)		
n: 溪岸		
o: 雲霧帯		
p: 樹幹、樹上		
⑥季観を構成する特徴的な種		既存の指定植物において本項目で選定されている種を抽出
⑦園芸業者、業種業者、マニア等の採取対象となる種		既存文献、図鑑等の記載や、既存の指定植物において本項目で選定されている種を抽出

表 2-6 参考文献一覧

No.	文献名	編・著	発行	発行年
1	日本の野生植物 シダ	岩月邦男	株式会社 平凡社	1992年2月4日
2	日本産シダ植物標準図鑑 I	海老原淳	株式会社学研プラス	2016年7月27日
3	日本産シダ植物標準図鑑 II	海老原淳	株式会社学研プラス	2017年4月11日
4	改訂新版 日本の野生植物 1 ソテツ科～カヤツリグサ科	大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司	株式会社平凡社	2015年12月17日
5	改訂新版 日本の野生植物 2 イネ科～イラクサ科	大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司	株式会社平凡社	2016年3月18日
6	改訂新版 日本の野生植物 3 バラ科～センダン科	大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司	株式会社平凡社	2016年9月20日
7	改訂新版 日本の野生植物 4 アオイ科～キョウチクトウ科	大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司	株式会社平凡社	2017年3月10日
8	改訂新版 日本の野生植物 5 ヒルガオ科～スイカズラ科	大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司	株式会社平凡社	2017年9月20日
9	日本カヤツリグサ科植物図譜	星野卓二・正木智美・西本真理子	株式会社平凡社	2011年3月25日
10	日本イネ科植物図譜	長田武正	株式会社平凡社	1989年12月5日
11	日本産スゲ属植物分布図集	正木智美・スゲの会	スゲの会	2018年7月1日
12	山溪ハンディ図鑑 8 高山に咲く花 増補改訂新版	清水建美	株式会社 山と溪谷社	2014年4月15日
13	スマレハンドブック	山田隆彦	株式会社 文一総合出版	2010年3月10日
14	カエデ識別ハンドブック	猪狩貴史	株式会社 文一総合出版	2010年11月15日
15	ツツジ・シャクナゲ ハンドブック	渡辺洋一・高橋修	株式会社 文一総合出版	2018年4月10日
16	フィールドガイド 日本のチョウ	特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会	株式会社 誠文堂新光社	2011年4月30日
17	日本産蝶類幼虫食草一覧(チェックリスト)	仁平勲	仁平勲	2004年6月24日
18	レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 8 植物 I (維管束植物)	環境省自然環境局 野生生物課希少種保全推進室	株式会社ぎょうせい	2015年3月
19	2018 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物	山梨県森林環境部みどり自然課	山梨県森林環境部みどり自然課	2018年3月
20	長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～維管束植物編	長野県自然保護研究所・長野県生活環境部環境自然保護課	長野県自然公園協会	2002年3月
21	まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-(植物編)	静岡県自然環境調査委員会	羽衣出版有限会社	2004年3月31日
22	国立、国定公園特別地域内指定植物図鑑 -関東・中部(山岳)編-	環境庁自然保護局	大蔵省印刷局	1982年4月20日

2.4 確認種リストとシカ採食植物・不嗜好性植物の照合

本業務の目的として、指定植物の選定作業に資することに加え、シカ対策等を効果的・効率的に実施するために必要な基礎資料とすることと記載されている。また、山梨県森林総合研究所 長池氏からは北岳右俣及び草すべりにおけるシカによる植物の採食状況についての情報（未発表）をご提供いただいた。

このことから、作成した植物リスト（維管束植物）を、シカの採食植物及び不嗜好性植物について整理した文献の情報、及び長池氏の情報と照合した。

参考とした文献を以下に示す。

- ・高槻成紀（2006）.シカの生態誌 財団法人東京大学出版会 2006
- ・奥日光におけるニホンジカの食性に及ぼす影響と生態系の保護管理 (<http://www.nacsj.or.jp/pn/houkoku/h01-08/h05-no07.html>)
- ・高槻成紀（1989）.植物および群落に及ぼすシカの影響 日本生態学会誌 39:67-80
- ・大森威宏（2012）.シカに喰われる植物たち ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会要旨集
- ・田村淳・勝山輝男（2007）.シカの採食圧の異なる東西丹沢における林分構造と林床植生の差異 丹沢大山総合調査学術報告書
- ・田村淳ほか（2013）.植生保護柵を活用したモニタリング地点の植生変化 神奈川県自然環境保全センター報告第11号,45-52
- ・前迫ゆり・高槻成紀（2015）.シカの脅威と森の未来 シカ柵による植生保全の有効性と限界 株式会社文一総合出版
- ・橋本佳延・藤木大介（2014）日本におけるニホンジカの採食植物・不嗜好性植物リスト 人と自然 25:133-160
- ・山梨県森林総合研究所 長池卓男氏提供データ.北岳右俣及び草すべりにおけるシカの採食状況（未発表）

照合の結果、本業務における維管束植物の確認種 1675 種のうち、366 種がシカの採食植物であり、そのうち 32 種は実際に北岳右俣で被食されていた。一方、不嗜好性種は 103 種であり、そのうち 6 種は北岳右俣でも被食が確認されていない。

なお、1206 種が、採食植物及び不嗜好性植物のどちらにも該当しなかったが、シカの植物嗜好性は地域差があることから、今後、ヒアリングや現地調査、文献調査等により、南アルプス国立公園内でのシカによる食害の発生状況を反映したリストへと改良していくことが望ましい。

2.5 その他の分類群

収集した情報のなかには、蘚苔類、菌類、地衣類の情報も含まれていたことから、それぞれの分類群についてもリストを作成した。

2.6 業務内容のとりまとめ

業務内容を経緯と共に報告書の形でとりまとめた。

報告書の作成にあたっては、作業内容を記載した公開版報告書と、前述 2.4 項で作成した南アルプス国立公園に生育する可能性のある植物のリストを含む非公開版報告書の 2 種類を作成した。

資料編

- ・資料 : 収集文献一覧

資料 収集文献一覧

文献No.	文献名	編・著	発行	発行年	抽出した分類群			
					維管束植物	蘚苔類	菌類	地衣類
1	長野県植物目録	長野県植物目録編纂委員会	長野県植物目録編纂委員会	2017年6月1日	○			
2	長野県版レッドデータブック ～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～ 維管束植物編2002	長野県自然保護研究所、 長野県生活環境部環境自然保護課	長野県自然公園協会	2002年3月1日	○			
3	信州の高山植物	奥原弘人、千村速男	信濃毎日新聞社	1980年7月10日	○			
4	静岡県植物誌	杉本順一	第一法規出版株式会社	1984年9月1日	○			
5	まもりたい静岡県の野生生物 -県版レッドデータブック- <植物編>	静岡県自然環境調査委員会	羽衣出版有限公司	2004年3月	○			
6	山梨の植物誌	植松春雄	井上書店	1981年3月20日	○			
7	2018山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物	山梨県森林環境部みどり自然課	山梨県森林環境部みどり自然課	2018年3月	○			
8	南アルプス 地形と生物	増沢武弘	静岡県県民部環境局環境ふれあい室	2010年3月15日	○	○	○	○
9	南アルプスの自然	増沢武弘	静岡県環境森林部自然保護室	2007年3月30日	○			○
10	南アルプス 白峰三山の自然	増沢武弘、塩沢久仙	南アルプス芦安山岳館	2013年7月31日	○	○	○	
11	南アルプス お花畑と氷河地形	増沢武弘	静岡新聞社	2008年12月20日	○	○	○	○
12	南アルプスの植物	植松春雄	井上書店	1967年8月15日	○			
13	日本南アルプスの高山植物(1)	横内文人	長野県植物研究会誌 36:1-20	2003年	○			
14	日本南アルプスの高山植物(2)	横内文人	長野県植物研究会誌 37:51-72	2004年	○			
15	南アルプス 歩きながら覚える 夜叉神峠・鳳凰三山の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2002年6月10日	○			○
16	南アルプス 歩きながら覚える 仙丈ヶ岳の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2003年6月20日	○			
17	南アルプス 歩きながら覚える 北岳の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2010年6月30日	○			

平成 31 年度
南アルプス国立公園ニホンジカ対策モニタリング
および植物生育状況調査業務

植物生育状況調査
報告書
令和 2 年 3 月

業務発注者： 環境省 関東地方環境事務所
〒330-9720 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-1
さいたま新都心合同庁舎 1 号館 6 階
TEL 048-600-0516

業務請負者：株式会社 地域環境計画 東京支社
〒154-0015 東京都世田谷区桜新町 2-22-3 NDS ビル
TEL 03-5450-3700

資料 収集文献一覧

文献No.	文献名	編・著	発行	発行年	抽出した分類群			
					維管束植物	蘚苔類	菌類	地衣類
1	長野県植物目録	長野県植物目録編纂委員会	長野県植物目録編纂委員会	2017年6月1日	○			
2	長野県版レッドデータブック ～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～ 維管束植物編2002	長野県自然保護研究所、 長野県生活環境部環境自然保護課	長野県自然公園協会	2002年3月1日	○			
3	信州の高山植物	奥原弘人、千村速男	信濃毎日新聞社	1980年7月10日	○			
4	静岡県植物誌	杉本順一	第一法規出版株式会社	1984年9月1日	○			
5	まもりたい静岡県の野生生物 -県版レッドデータブック- <植物編>	静岡県自然環境調査委員会	羽衣出版有限公司	2004年3月	○			
6	山梨の植物誌	植松春雄	井上書店	1981年3月20日	○			
7	2018山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物	山梨県森林環境部みどり自然課	山梨県森林環境部みどり自然課	2018年3月	○			
8	南アルプス 地形と生物	増沢武弘	静岡県県民部環境局環境ふれあい室	2010年3月15日	○	○	○	○
9	南アルプスの自然	増沢武弘	静岡県環境森林部自然保護室	2007年3月30日	○			○
10	南アルプス 白峰三山の自然	増沢武弘、塩沢久仙	南アルプス芦安山岳館	2013年7月31日	○	○	○	
11	南アルプス お花畑と氷河地形	増沢武弘	静岡新聞社	2008年12月20日	○	○	○	○
12	南アルプスの植物	植松春雄	井上書店	1967年8月15日	○			
13	日本南アルプスの高山植物(1)	横内文人	長野県植物研究会誌 36:1-20	2003年	○			
14	日本南アルプスの高山植物(2)	横内文人	長野県植物研究会誌 37:51-72	2004年	○			
15	南アルプス 歩きながら覚える 夜叉神峠・鳳凰三山の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2002年6月10日	○			○
16	南アルプス 歩きながら覚える 仙丈ヶ岳の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2003年6月20日	○			
17	南アルプス 歩きながら覚える 北岳の高山植物	特定非営利活動法人 芦安ファンクラブ	山梨日日新聞社	2010年6月30日	○			